

明治天皇 東北御巡幸に由来



盛岡八幡宮境内を入って左手に水掘石があります。もともとは岩手郡内北の浦の滝壺にあった石で、流水によって自然にくぼみが形づくられた珍しい石です。明治9年に明治天皇が東北御巡幸の際、行在所となった日詰の金子七郎兵衛がその庭でこれに似た石に水をため鱒を放していたところ、それを天皇が御足を止めて御覧遊されたとの記録から、明治21年の八幡宮再建時に、八幡町の人びとが水掘石を神社に奉献しました。

初詣の際は、歴史あるこの石を流れる水で心を清めてみてはいかがでしょうか。

